

梶原町社協だより

ゆすまいる



第13号

(平成 28 年 11 月)

目次

生活福祉資金貸付制度について	1P
ゆすはら複合福祉施設設立準備室よりお知らせ	2P
高知県立大学地域学実習報告	3P
おげんき発信通信	4P
輝く梶原人！み～つけたっ！	5~6P
掲示板 (まごころ弁当ボランティア募集／表紙の写真について)	

ゆすはら複合福祉施設 設立準備室よりお知らせ

【お問合せ】

社会福祉法人梶原町社会福祉協議会
施設設立準備室（担当）立道・山田
電話 0889-65-1236 FAX 0889-65-1237

「梶原のくらし見学会」について

ゆすはら複合福祉施設のスタッフ募集を目的として、「梶原のくらし見学会」を実施しています。

この見学会は、スタッフの募集にあたり、職場環境も重要な要素となりますが、梶原での日常や生活環境も大きなアピールポイントとし、総合的なPRを行うため実施しているものです。

見学内容は、住宅をはじめ、生活や自然環境、地域性など、実際に見学し感じていただける内容となっています。

今年度を実施した学校訪問やふくし就職フェアに併せて、県内外の大学や専門学校に呼びかけ、参加者を募集し、7月から9月までに大学生9名の参加がありました。

学生の皆さんは都会での生活を望む方が多いのではと考えていたのですが、自然や地域性の豊かなところで生活をしたいという方も多くことができました。特に本町は、豊かな自然環境に加え、上下水道や光回線の利用が可能なことや愛媛県へもアクセスがよいことなども、魅力の1つとなっているようです。

また、「街がきれい」「ゴミが落ちていない」ことなど、地域の皆さま1人ひとりが町を大切にしていることが相対的に梶原の魅力につながっていると思います。

町内の保健・医療施設や観光地、四国カルストなどをご案内するなかで、私たち自身も、改めて町の魅力を再発見することができました。

今後も、「仕事」＋「梶原のくらし」のPRを行いながら、ゆすはら複合福祉施設の人材確保に努めていきたいと考えております。



「梶原のくらし見学会」を希望される方がおられましたら、ぜひ、お気軽にお問合せください！

生活福祉資金貸付制度



生活福祉資金貸付制度ってなに？

低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるように支援する制度です。

総合支援資金

【生活支援金・住宅入居費・生活再建費】

失業等により生計維持ができない世帯に対して自立支援のための生活再建支援と資金貸付を行う制度。

福祉資金

【福祉費・緊急小口資金】

低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯に無利息あるいは低利で福祉資金、教育支援資金を貸付する制度。

教育支援資金

【教育支援金・就学支度費】

低所得者世帯の方の高等学校や大学に就学するための費用や入学に際して必要な資金を貸付する制度。

【貸付金利子】

- ・連帯保証人を立てた場合：無利子
- ・連帯保証人を立てない場合：年 1.5%
- ※教育支援金、緊急小口資金は無利子

【その他の条件】

- ・民生委員の相談支援：生活福祉資金の利用にあたっては民生委員の相談支援を受けていただくことが前提です。
- ・多制度優先：他の公的資金貸付制度を利用可能な場合は、他の公的資金を優先して活用していただきます。
- ・納税ができていないこと：税の滞納がある場合は原則貸付ができません。ただし、滞納税の納付については行政と協議し、分納納付する計画書を作成した場合は借入申込を受け付ける事となります。

【貸付世帯】

低所得者世帯・障害者世帯・高齢者世帯

※その他にも、条件により返済免除規定を受けられる、介護福祉士修学資金貸付制度や保育士修学資金貸付、保育補助者雇上支援貸付、ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業などもあります。詳しくは梶原町社会福祉協議会までお問い合わせください。

【お問合せ】 社会福祉法人 梶原町社会福祉協議会 担当：芝田・玉川
電話 0889-65-1235 FAX 0889-65-1237

輝く梶原人！み～つけたっ！！

in 初瀬

俳句の魅力は、素人でも紙と鉛筆でできる“とっつきやすさ”

以前は、釣りをしよったけど、首を手術してからは草刈りなんかもできなくなった。かわりに、筋道さえ知っちゃれば素人でもできる俳句を始めた。これは！という風景を見たり、お題をもらったら俳句を考えようけど、言葉やったら何でもくっつけて良いし、誰が読んでも伝わる俳句はえいねえ。でも、ペンネームを“案山子”にしちよったら、周りから誰か分からん！といわれて本名に戻したね（苦笑）
まあ、俳句は遊び心も大事やきね。

区長でも、保護司でも、周りが薦めてくれたき、やってみよう！と思えた

特に自信があったわけでもないけど推薦されたこともあって、やってみようと思った。区長の時は、初瀬のみんなに助けてもらうで大変ではなかった。保護司の時もお願いされて初瀬区の担当になった。刑を終えて地元へ帰りたい人がおったらお世話するようになるがやけど、区長をやめた後も合わせたら21年間やりよったね。



若い人たちと話をすると自分にとっても良い勉強になる

梶原も過疎化が進んで、部落も人が少なくなりゆう。誰か来てくれたらと思って知り合いに声をかけゆうけど、なかなかね…。もし町外の若い人が来て話を聞きたいというようだったら、何か役立つ提案とかができるかは分からんけど、話をすることはできると思う。若い人と話をすることは自分の勉強にもなってえいと思う。

野中胤雄さん（83）

昭和8年生まれ。梶原町仲久保出身。小学校卒業後に津野町新田の鍛冶屋に弟子入りする。25歳ごろ仲久保に戻り、農業を継ぐ。70歳代で初瀬区長を務め、保護司としても21年間、活動していた。

in 越知面

岡田毅さん（65）

昭和26年生まれ。梶原町上本村出身。高校卒業後に千葉で生活を始め、5年後に千葉県農業大学校に通う。25歳から農業普及指導員として35年勤め、定年を迎える。その後故郷の梶原町に帰り、現在は甘長とうがらしやとうもろこし、枝豆、落花生など多くの品目を作っている。

農業の魅力は、嘘やごまかしがきかないこと

人間同士だとさ、なんか失敗とかすると「お前が悪いんだ」って言うでしょ。理屈が強いやつが勝ったりするけど、植物が相手だと嘘とかごまかしが全然通用しない。上手くいかなかったら自分が正しくないということ。よく観察して植物が喜んでくれる管理をしないとイケないね。農業をやるからにはレベルの高い農業をやりたい。思い通り良い品物で収量があがると、そりゃ嬉しいですよ。辛いことは、致命的な病気や災害で作物がダメになってくると気持ちが沈んでしまうね。



振り込め詐欺の寸劇に参加してくれたときの写真です。本業ではありません！（笑）

農業を職業として成り立たせたい

農業の色々なことを勉強してきたけど、定年になり自由になってなにをやるってなった時に「故郷に帰って農業をしよう」と思った。農業で収入を得る道筋をつくってみようと。夫婦で子どもを育てるぐらいの所得を農業で生み出したいわけよ。その道筋ができれば人を育てて、農業を受け継いでもらいたいね。

とうもろこしロードをつくりたい

美味しいものいっぱいあるけど、その1つが「とうもろこし」。魔法のように品種改良されてんの。スイートコーンは食べてみると極上の甘さでそれが口の中で、ぷちっ！ジュワー！って広がってたまらなく美味しい。去年は8,000本作って、1本200円～130円ですべて完売。みんなもすごく美味しいって言ってくれた。これから不耕作の水田にみんなでとうもろこしを作り、収入を増やしたいですね。



掲 示 板

ボランティア募集中！ みんなで届けよう まごころ弁当



【ボランティア内容】

- 町内の満 80 歳以上の在宅高齢者へ手作り弁当を配食
- 配食時に地域の高齢者とふれあい・交流

【実施日時】

今年 12 月中旬の日曜日、13 時を予定

※詳細は 11 月の実行委員会にて検討し決定します。

【募集対象】

人との交流が好きな方！ボランティアに興味のある方！
年齢・地区・所属を問わず募集しています。



「まごころ弁当事業」は赤い羽根共同募金の助成金を活用し、実施されています。昨年はボランティアの皆様のおかげで計 552 食のまごころ弁当をお届けすることができました。今年も昨年同様、調理・配食ボランティアを募集しておりますので、興味のある方はぜひ社協までご連絡下さい。実行委員は、区長会長及び各区长推薦者と協力団体の代表の計 14 名のボランティアで構成されています。



** 表紙の写真について **

1

2

3



4

5

- ①久保谷部落「夏の宿題終わらせよう大作戦」に参加した高校生の笑顔
- ②栲原の秋を感じられる稲刈りをしている様子
- ③ヘルスメイトさん活動中の元気な 1 枚！
- ④お願いしたらかわいい笑顔を向けてくれました♪
- ⑤とあるお宅で保護したモモンガにミルクをあげる様子

「ゆすまいる」では表紙に載せる写真を募集しています。構わない方は、出会った社協職員に声をかける、又は社協までお問い合わせください。

担当：宇賀・西村・中越（悠）

